



東日本大震災からの 地域復興

長期的観点による被災の実像と法的支援に向けて

2018年

2月17日 土 14:00-17:30

立教大学池袋キャンパス 7号館1階 7102教室

東京都豊島区西池袋3-34-1

第1部 基調講演

14:10~15:10

「災害時の法の役割と可能性」

講師：津久井 進氏(芦屋西宮市民法律事務所代表社員)

弁護士。日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長、関西大学社会安全学部非常勤講師、関西学院大学災害復興研究所研究員、兵庫県震災復興研究センター共同代表ほか。著書「Q&A被災者生活再建支援法」(商事法務)、「大災害と法」(岩波新書)等多数。



第2部 『地域復興の法と経済学』研究報告+ディスカッション

15:20~16:20

「被災地のリーガルニーズの視覚化と生活再建のための防災・減災プログラム」

岡本 正 (銀座パートナーズ法律事務所弁護士、博士(法学))

「被災地の農産物や住宅に市場はどう反応したのか」 田島 夏与 (立教大学教授)

「原発事故が住宅価格に与えた長期的影響の分析」 一ノ瀬 大輔 (立教大学准教授)

「原発事故が医療・介護・福祉ニーズに与えた影響」

大津 唯 (国立社会保障・人口問題研究所研究員)

「どのような弁護士が東日本大震災の被災者支援を行ったのか」

小山 治 (京都産業大学准教授)

16:30~17:30 パネルディスカッション

コメンテーター：津久井 進氏 司会：安藤 道人 (立教大学准教授)

主催

立教大学経済学部

共催

立教大学学術推進特別重点資金 東日本大震災復興支援関連研究『地域復興の法と経済学』
立教大学平和・コミュニティ研究機構 (研究代表者：田島夏与)

お問い合わせ

E-mail: ktajima@rikkyo.ac.jp TEL: 03-3985-2269